

第1回 町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会 議事要旨

開催日時	2020年5月13日（水） 18：30～20：23
開催場所	町田市役所市庁舎 10階会議室
出席者	委員 丹間康仁、遠藤誠徳、小崎公平、安達廣美、中一登、武藤雄丈、大石眞二
	職員 小池指導室長、田中教育総務課長、是安教育総務課担当課長、浅沼施設課長、小宮施設課用務担当課長、田村学務課長、有田保健給食課長、林教育センター所長、来住野施設課担当係長、根本学務課管理担当係長、鈴木教育総務課担当係長、（庶務：教育総務課総務係）中野主任、小形主任、京増主任
審議内容	新たな通学区域と学校づくりに関するアンケート及び意見募集について

■議事要旨（敬称略）

1 委員自己紹介

（丹間部会長及び部会員の自己紹介）

2 開会

丹間部会長 （開会宣言）

3 進行の提案

教育総務課 （資料1～7を説明）

【議論】

大石委員 Webアンケートを想定しているが、回答率に差が出る可能性がある。紙での回答提出は可能か。

教育総務課 後ほど説明する資料になるが、資料10でWebフォームから回答ができない場合は、書面による回答することもできる運用を提案させていただいている。

丹間部会長 教育総務課から提案があった、検討部会の検討事項、検討スケジュールについて異議はないか。

各委員 「異議なし」の発言あり。

4 「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」の考え方及び検討課題について

教育総務課 （資料8を説明）

【議論】

遠藤委員 説明があった考え方で大丈夫だと思う。

小崎委員 説明があった内容は、昨年時間をかけて話している内容なので、踏襲しながら進めるのがいいと思う。

武藤委員 5地区の境界線はあまり意識しないで、隣接地区との関係性も検討できるといふと思う。

大石委員 説明内容は昨年度の内容がすべて含まれた内容なので、これに則って議論することでよいと思う。

安達委員	小崎委員の考え方と同感である。ただ、同じ町区域でも複数の小学校にわかれてしまう場合がある。この内容についても今後検討したらいいのではないかと思う。
丹間部会長	基本的には昨年度の審議会の議論、答申、それを踏まえた基本的な考え方、資料3を踏まえて資料8ができていることがご理解いただけたと思う。「重要」と書いてある資料8の1番の(5)についてはいかがか。
武藤委員	町田市が新たな用地を確保したり、ほかの施設の用地を転用しても建てるつもりがあるのか示す必要があると思う。
小崎委員	今回のアンケートでは、統廃合がある、自分の学校がなくなることに対するインパクトみたいなものは聞いていく必要がやっぱりあるのではないかと思う。
	去年のアンケートでもう統廃合はやむなしという意見はかなりあった。その統廃合の是非ではなくて、自分の学校が条件によってはなくなっていくのも仕方がない、というような意見があるのかないのかというのを聞くことが重要だと思う。
遠藤委員	私は学校統廃合の案を具体的に示さないほうが建設的な意見を聞けると思っていたが、確かにある程度の具体的な内容を示してどういう意見が出てくるのか把握しておいたほうがいいとのかなと考えが変わった。
小崎委員	アンケートの段階で学校統廃合の案を示すことは可能か。
教育総務課	ある程度学校の統廃合の可能性については示していきたいと考えている。場所については、どこまで具体的なものが出来るかというところがあるため、統廃合がありうる場合には学校の位置もどこがよいか問うような示し方になると思う。
施設課	先ほどの武藤委員の学校の位置として、新たな用地の確保ということについては、確保できればよいが、例えば2万平方メートルぐらいの敷地が必要となるため、現在使っている学校用地を利活用していくというような想定が強い。
武藤委員	現在、学校が建っている学校の敷地を売却して、新たに土地を購入するとかということは考えないということか。
施設課	新たに売却して、別の場所に教育環境をより良くできる土地があれば検討の材料であるとは思うが、それだけの広さのある土地があるのか、という問題もあるので現実的にはかなり厳しいと認識している。
丹間部会長	すべての学校が統廃合になるかもしれないというぐらいの当事者意識を持った上で対象者の方々に回答をしていただきたいということかと理解した。
	逆に学校名を出してしまうと、残る学校の人たちはそれで安心というか、思考停止になる。一方でなくなる学校の人たちには不安感をあおってしまうとも思った。そういう意味で、ここではっきりと何か具体的な学校の位置を示し過ぎるよりは、どこの学校も対象になり得るというような案とし、委員の方からの意見も反映して、新たな通学区域のアンケート調査案の素案を作ったうえで確認したい。
小崎委員	委員それぞれが考えていることが整理されていないと思うので認識を確認したい。
	これからアンケートの内容を詰めていくが、5地区に同じアンケートをしないものだと思っている。例えば私は南地区だが、南地区は資料9に全部地図で載っている。南地区の今ある例えば鶴間小学校、南第一、南つくし野小学校、恐らく成瀬まで

含んだ中で一体的に考えていくという形で示さないと、回答者も何が問われているのかがわからなくなると思う。

だから、そういう内容を5地区にそれぞれに聞かないといけないんじゃないかなと思っているが、認識を確認しておきたい。

教育総務課 設問は各地区とも共通。ただ、すべての地区で同じ通学区域案を示すのではなく、地区ごとの通学区域案を示すことを想定している。

小崎委員 教育総務課の説明と同じ内容で私は認識しているが、全員でコンセンサスが取れているのかを確認しておいた方がいいと思う。

遠藤委員 アンケートの対象者全員に同じ内容、同じ文面のものを配布することを想定していたが、今のやり取りで出た内容の方が具体的に示していくかと思ったので、賛成。

大石委員 設問を変えるのではなく、示す通学区域案の地区が違うという認識でよいか。

教育総務課 設問は同じで通学区域案は地区別によって違うものとすることを想定している。先ほどお話ししたいたように、南地区の人に堺地区の通学区域のことを聞いてもわからないと思っている。はっきり自分が検討対象だと分かるほうがいいのではないかというご趣旨を踏まえた形で、提案できるような素案を想定している。

丹間部会長 アンケートの質問は市内全て一緒か。

教育総務課 同じにすることを想定している。

丹間部会長 アンケートに答えてもらう上で、具体的な通学区域案を5つの地区に分けて、より当事者意識を持って、危機意識を持って回答いただくということかと思う。

教育総務課 そのような内容で提案することを想定している。

丹間部会長 確認だが、新たな通学区域のあり方検討部会案とせず、アンケート調査案となっているのはどういう趣旨か。

教育総務課 通学区域の案については、審議会で議論をしたうえで答申としてまとめていくと認識している。そして、「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」の中に位置づけられたことをもって決定する。

今回は、このアンケート調査において学校統廃合を含めた通学区域を見直しに着手するための案についてご意見をお聞きする趣旨でアンケート調査案という名前で提案をしている。

小崎委員 今回のアンケートは去年のアンケートよりも一步踏み込む必要がある。各論の結論を来年の春に出すためのアンケートなので、聞くことはちゃんと聞くというアンケートの建て付けになるようにしたほうがいいと思う。

中委員 この5地区よりも地域を絞り込んでアンケートが取れれば、より細かい部分が理解できるのではないと思う。各地区はエリアとしては相当広いので、アンケートの仕方がかなり難しくなるだろうなと思う。

丹間部会長 皆さんは、すでに次のテーマに入ったご意見を出されているので、先へ進めさせていただいて、その後にこれまで議論してきたテーマと一括して確認するという進め方をしてよいか。

各委員 「異議なし」の発言あり。

5 「(仮称) まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査及び意見募集の構成について

教育総務課

(資料9を説明)

【議論】

遠藤委員

5か町村の地区の区分を軸にアンケートを取ることは賛成だが、地区と地区の境目に当たる方々に対しては、柔軟に両方の資料を提示してもらえばと思う。できるならば、子どもと一緒に答えるようなアンケート内容があると、当事者たちの意見も反映できるのかなと感じた。

小崎委員

おおむねまとまっていると思う。統廃合がいいとか悪いとかじゃなくて、具体的に通学区域が変更するという未来をどう考えるかということになると思う。未来のことなので自分の子が対象ではないけれども、あなたの子どもが対象になるんだったらどう思うか、という所を明確にしないとぶれた結果になると思うので、注意して作ったほうがいいと思う。

武藤委員

かなり具体的な内容が5地区で出てくるということが感じ取れた。具体的な策が次回出てくるのだろうなということを想定している。親の意識としては子どもたちにも語りかけたいなとは思うが、子どもは自分の目の届く範囲のことしか分からぬとも思うため、かなり難しいと思う。

それから、保護者が客観的に判断できるよう、未来のことであるということをしっかりと強く打ち出して、理解していただいた上で回答いただくのがいいと思う。

あと回答の方法をWebでも書面でも構わないとした場合に、項目立てについてもこだわらずに自由に書いてよくするのかについて確認したい。

教育総務課

意見募集についてもWebフォームで回答いただきたいが、高齢の方でWebフォームで回答はできないけれど、便箋でお便りを寄せられたいという方を拒まないという主旨で書面（任意の様式）での回答も想定している。

小崎委員

今回はかなり広範囲な統廃合の議論にならざるを得ないという現実を受け止めるのは未来の住民であり、そういう人たちが学校統廃合を含めた通学区域の見直しに対して建設的な意見を得ることが統廃合するときの後ろ盾になると思う。

丹間部会長

2040年ということをきちんと想定していただいた上で回答してもらわないといけない。そのあたりは質問の仕方などで工夫していく必要があると思う。

大石委員

この内容を精査していくことには合意。懸念事項としては新型コロナウィルスの感染拡大防止の対応で精いっぱい、20年後のことなんて考えられないこともあると思う。2019年に実施したときは、子どもも減るし、予算にも限りがあるから仕がないといったアンケート結果だったという感想を持っている。今回は回答率そのものも結構厳しいのかなというような懸念がある。

アンケートの設計についてだが、Webフォームで郵便番号を入れれば、自分のところが学校統廃合の対象だとがわかるような設計か。全てが統廃合の対象だという認識のもとで、学校の位置などを答えてもらったほうがいいかとも思った。

教育総務課

Webフォーム設計仕様を確認する必要があるが、分かりにくさがないような設計としたい。どのようにお聞きしたほうがいいかは委員の皆様で検討いただきたい。

大石委員

できれば全員が統廃合の対象だという認識で答えてもらえればいいと思う。統廃

合対象校とそうでない地域の保護者とで、回答の傾向に何か有効な差異があるかどうかということも、今後の検討に生かしていければと思う。

安達委員 アンケート結果が出たら、現地を視察し、現地をよく把握した上で、議論ができるいいと思う。

中委員 地区を分けるにあたっては、町田市は5地区から始まっているが、現在は地区協議会や町田市都市マスターPLANなどの地区がある。いろいろな地区分けがあると学校や地域などの連携も難しくなると思う。

教育総務課 通学区域については、旧5か町村の区域で整理した上で、確認していくことが望ましいと思い提案をしている。

一方で、境界線の端境のところはわかるように工夫して、地区割りの整理はさせていただきたい。

小崎委員 資料9は数字の羅列だけになっているので、読み込むことが難しい、電卓をたたかないと数がわからない。2040年度の学校の数はわかるほうが良いと思う。

教育総務課 市民感覚でわかりやすくお答えしやすいよう、通学区域や今後の学校数などの状況がわかるような示し方を工夫してご提案したい。

丹間部会長 グラフや地図などで工夫してほしい。本日の様々な意見を反映した新たな通学区域案のアンケート調査案の素案とアンケート調査・意見募集の素案を事務局で作っていただきたい。

6 第2回検討部会開催概要・閉会

丹間部会長 (次回検討部会開催日程確認・閉会宣言)